

捨てきれずに残した写真を拾い出してお目にかけますので、次回のミーティングで忌憚なくご批評いただければ幸いです。

アメリカフウ：先代が大きくなり過ぎて伐り倒したあと、5mばかり離れた場所で子が芽生えて大きくなった。居間の前で陽射しを和らげてくれるので今度は大事にしたい。左写真の種子から芽を出させたのを貰ってくれる人がいれば嬉しい。今回、緑・赤・黄の3色が競う瞬時を見逃したのが残念だ。害虫がつかず、落葉も始末しやすいので庭木に薦めたい。



曹源寺：後楽園の借景である操山の東麓に建つ古刹で、藩主池田家の菩提寺。秋は山門から前庭の紅葉と本堂の白壁に映えるカリンが見応え、奥庭の池に水鳥が泳ぎ 春は枝垂桜が華やかである。夕刻、外国からの修行僧が托鉢姿で境内を巡るのに出会って現代の禅宗を思う。芸術家集団が庭と茶室を借りての作品展が慣例になっている。工悦邑の木工作家Eさんの毎回出展を鑑賞しているが、左下は径が30cm余りの木の空洞にたまたま落葉が飛んできたのを撮った一コマです。



晩秋の曹源寺

百歳翁のお飾り：

2月に100歳を祝われたMさんを訪ねたが、峠を越えた心境からか少し所作が変わられたように思ったのはごく自然なことだ。ロサンゼルス在住のご子息と息女が交互に来日して面倒みておられるが普通にはできないことだ。これら座敷と居間で写真を撮らせていただいた。



Canon G7X：コンパクトながらf1.8 24~100mm (35mm換算)は趣味に十分なスペックであるが、必要以上に操作メニューが多くて複雑なのが難。下はこのレンズを活かした気に入りの写真です。

ベニシジミ：石蓮寺集落に近い
最終処分場予定の窪地で
〈自然観察活動〉



ミツバチがポピーに：

NHK 岡山のもぎたて (ローカル番組)
に採用された 〈ドイツの森にて〉



(終)